

6月市議会定例会では日本共産党から金子ゆきひろ議員、 ふじしまともこ議員の2名が一般質問を行います。 質問項目をお知らせします。

金子 ゆきひろ 議員

1 地域循環型経済の推進、市内中小企業活用の継続・発展を

- ① 今後とも地域循環型経済の推進、市内中小企業活用の継続・発展を川口市としての大方針に
- ② 市内中小企業への就職促進策について
 - ア 若年者の市内中小企業への就労促進に関する補助金の拡充を
 - イ 合同企業面接会の再開について
 - ウ 通勤時間が短いことを発信強化すること
- ③ 公平・公正な指定管理者制度の運用のために市職員の体制強化を
- ④ 公契約条例の制定について
 - ア 公共工事で働くみなさんの賃金・単価の実態調査を
 - イ 市、元請企業、労働組合などが公契約条例について意見交換できる場を

2 いまこそ川口市平和都市宣言に光をあてる市政に

- ① 川口市平和展における被爆者の講話と市長との対談を映像として記録すること
- ② 市役所本庁舎に平和都市宣言文のパネル設置を
- ③ 市長が平和首長会議に出席し広報かわぐちに平和への決意を掲載することについて
- ④ 広島平和記念式典への中学生の派遣について

3 学校の暑さ対策について

- ① 小学校体育館に空調機設置を
- ② 最上階の教室の暑さ対策を
- ③ 日本語教室へのエアコン設置を
- ④ 給食調理室への空調機設置を

4 町会・自治会について

- ① 町会・自治会の活動紹介動画を作成すること
- ② 町会・自治会ホームページ作成支援について
- ③ 町会・自治会の高齢者世帯への対応について

5 使用料・手数料について

- ① 使用料・手数料をどうするかについて市民的議論の場を
- ② 物価高騰の時だからこそ手数料は負担増にしないこと
- ③ さいたま市のように公民館の使用料は無料に
- ④ マイナンバーカードを用いた交付の手数料について

6 鳩ヶ谷地域の諸課題について

- ① 里土地区画整理事業について
 - ア 直近の進捗状況について
 - イ 都市計画道路里西通り線と都市計画道路里上青木線の交差点への信号機設置の見込みについて
- ② (仮称)NHK川口施設の新設について
 - ア (仮称)NHK川口施設の新設に伴う経済効果をどう見ているか
 - イ 最寄り駅である鳩ヶ谷駅との交通手段について
 - ウ 埼玉高速鉄道とのイベントでの連携について

ふじしまともこ 議員

1 わかゆり学園及びサンテピア等の今後について

- ① 市で担う障害福祉サービスについて
- ② わかゆり学園について
 - ア 親子登園について
 - イ 重症心身障害の方について
- ③ サンテピアについて
- ④ 川口市社会福祉事業団について
 - ア 今後の在り方について
 - イ 職員の処遇について

2 障害がある方と家族が安心して川口市で暮らし続けるために

- ① 入所施設について
 - ア 市内外施設の入所者数について
 - イ 施設への入所希望者数について
 - ウ 入所希望者の平均年齢について
- ② 柳崎しらゆりの家の運営について

3 障害があるお子さんが通学するために

- ① 市内に特別支援学校を設置する取り組みについて
- ② 医療的ケア児が優先して入学できる分校について
- ③ 特別支援学級について
- ④ 医療的ケア児の受け入れについて
 - ア 受け入れ数について
 - イ 今後について

4 学校給食費の無償化について

5 命の水について

- ① 上下水道料金について
 - ア 市として基本料金無償化に取り組むこと
 - イ 大幅値上げを止めること
 - ウ 上下水道の料金改定における通増度について
 - エ 国からの補助金について
 - オ 国への働きかけについて
- ② 有機フッ素化合物(PFOS及びPFOA)の掲載方法について

6 ごみ収集業務について

- ① 職員の増員について
- ② ごみ集積所の鳥獣対策について

新川口

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2025年6月15日 No.1793

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

6月市議会を前に開かれた議会運営委員会に、日本共産党市議団は3本の意見書案を提案しています。今号では「米の生産基盤の条件整備と米不足に対する緊急対応を求める意見書」案の全文を紹介します。

「米の生産基盤の条件整備と米不足に対する 緊急対応を求める意見書」案

主食の米が在庫不足に陥り、販売価格が高騰し、流通業者や消費者に深刻な混乱と不安が広がっている。全ての国民が米を安心して確保できるようにすることが政治の課題となっている。

農林水産省の発表では、2024年6月末の米の民間在庫は前年比41万トン減で、過去最低となり、米価格は高騰している現状となっている。この要因として農林水産省は、昨年の猛暑による米の出回り量の減少、コロナ後の回復、インバウンドによる需要増、小麦など海外産原料の食料品価格が高騰する中で、米の相対的な割安感が高まり、消費が伸びたことなどを挙げ、南海トラフ地震臨時情報を受けた防災備蓄の増加も拍車をかけているとも伝えている。

今回の米不足の原因は、政府が生産量の削減をすすめ米の需給と価格を市場任にしてきたことにある。稲作農家はこの四半世紀で121万人減の53万人となり、800万トン以上あった米の生産量はこの20年間で150万トン以上減少し、作付面積は40万ha減少している。また、2021年のコロナ禍で米の需要が大幅に減少し在庫がダブつき、生産者米価が大暴落する中、米農家の時給10円という悲惨な事態が広がっている。加えて、同時期に政府は、米の過剰を理由に年間20万トンの減産を強い、さらに在庫も減らしてきたことが、現在の米不足と価格高騰につながっている。政府は備蓄米の活用を始めたが価格高騰は続いている。とりわけ、米の価格の高騰が低所得者・貧困家庭を直撃していることは深刻である。特に給食のない夏休み期間中、子どもたちが十分な食事を食べられない事態が全国で起きていることも看過できない。

よって、米の生産基盤が弱体化しているもとで、米不足は今後も続く可能性があることから、国の責任において生産基盤の条件整備と米不足に対する緊急対応を講じるよう以下求める。

記

- 1 安定して十分な米の生産量を確保し、価格保障・所得補償によって農家の収入を支える条件整備と財源確保を行うこと
- 2 低所得者・貧困家庭などに支援が行き渡るよう備蓄米の確保策を緊急に講じること



6月8日 第14回 オール埼玉総行動に参加

立憲主義を取り戻す！ 戦争させない！ 9条壊すな！

6月8日に北浦和公園には今年も「安保関連法廃止、9条壊すな、戦争させない、立憲主義を取り戻そう」と県内各地から大勢のみなさんが集まり、オール埼玉総行動に参加しました。

集会では、主催者や後援団体からの挨拶、戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会の菱山南帆子さんがゲストスピーチをし、安保関連法廃止をもとめる各政党から国会議員なども挨拶をしました。その後、若者や女性のリレーアピールが行われ、「戦争の準備ではなく、平和のもとで私たちはくらし、仕事をするやりがいも生み出せる」などの訴えもあり、参加者から連帯の大きな拍手が届けられました。

アメリカのヘグセス国防長官は、今年3月の日米会談で「平和を求めるのであれば、戦争の準備をする必要がある」と言い、憲法9条を持つ日本に対して「有事に直面した場合、最前線に立つ」ことを求めました。私たちは、平和のために戦争の準備をするという見地に反対します。自衛隊が戦争の最前線に立つなど「NO!」以外の言葉はありません。日本国憲法前文に「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることがないやうにすることを決意し、主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」とあります。あらためて、不戦の決意を確認し合い、戦後80年の節目を「戦争の準備」ではなく、「平和の準備」への転機とし、平和国家としてのあゆみを確かなものにしましょうなどの「アピール」が参加者一同で確認され、参加者は公園を出発し浦和駅までのパレードを行いました。

